

12週間のりんご摂取によるヒト介入試験

成果の特徴

- 一日一個りんご（ふじ、300g）を12週間摂取するヒト試験（UMIN000052142）を実施し、腸内細菌叢のタイプ（Bacteroidesタイプ、ET1; Faecalibacteriumタイプ、ET2; Prevotellaタイプ、ET3）によって脂質代謝が異なることを明らかにしました。

成果の内容

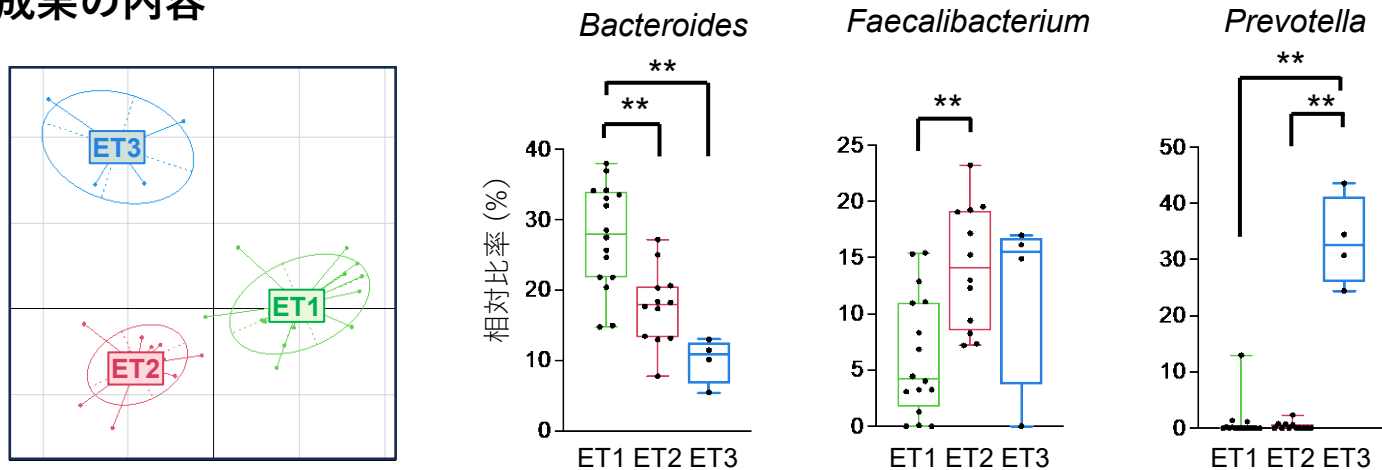


図1 介入前の被験者の腸内細菌叢

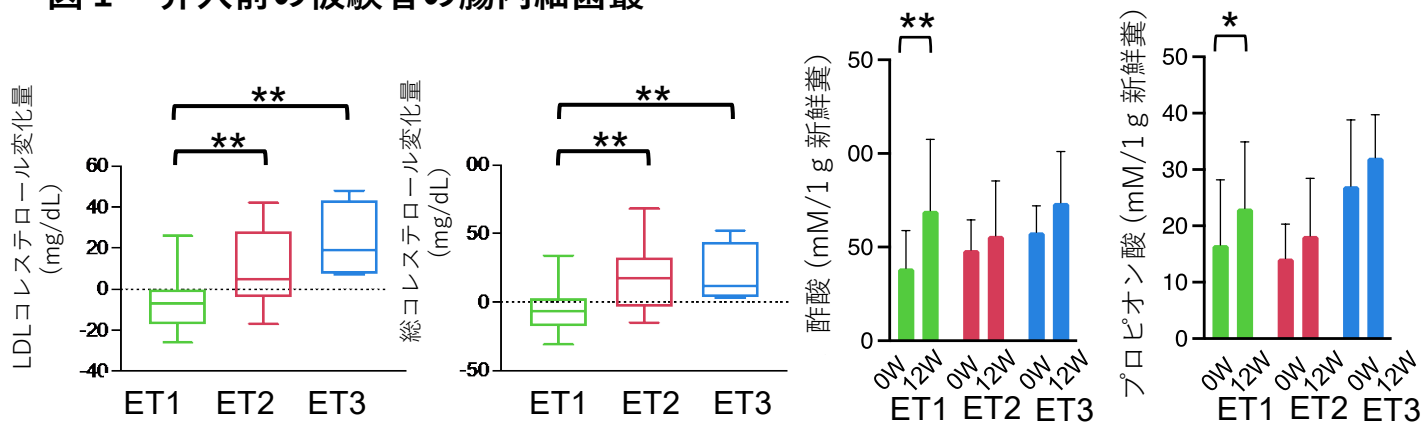


図2 エンテロタイプ別の脂質代謝の変化

図3 エンテロタイプ別の短鎖脂肪酸産生量の変化

想定される用途・連携希望先

果物などの機能性や腸内細菌で共同研究できる企業との連携を希望します。

参考

福島大学、弘前大学との共同研究です。科研費基盤研究B（24K02870）、青森県りんご対策協議会の支援を受けて行われました。

担当研究者：庄司 俊彦
所 属：食品研究部門
食品健康機能研究領域